隔月刊コンフォルト　インテリアの心地よさをつくる

CONFORT

2017年12月1日発行(偶数月1日発行)

No.159

2017 December

特集 杉を生かす、杉と生きる

吉野杉の挑戦

融通無碍な板倉づくり

インタビュー　安藤邦廣　南雲勝志

有馬晋平　スギコダマ

ありふれた材でつくる、とびっきりの家　伊藤寛

杉と建築　ツギテプロジェクト／竹田市立図書館
パレットホーム／縦ログ構法

杉図鑑　有馬孝禮　全国12産地の杉

国産材を使った建材カタログ

特集　杉を生かす、杉と生きる

Making Good Use of and Living with Japanese Cedar

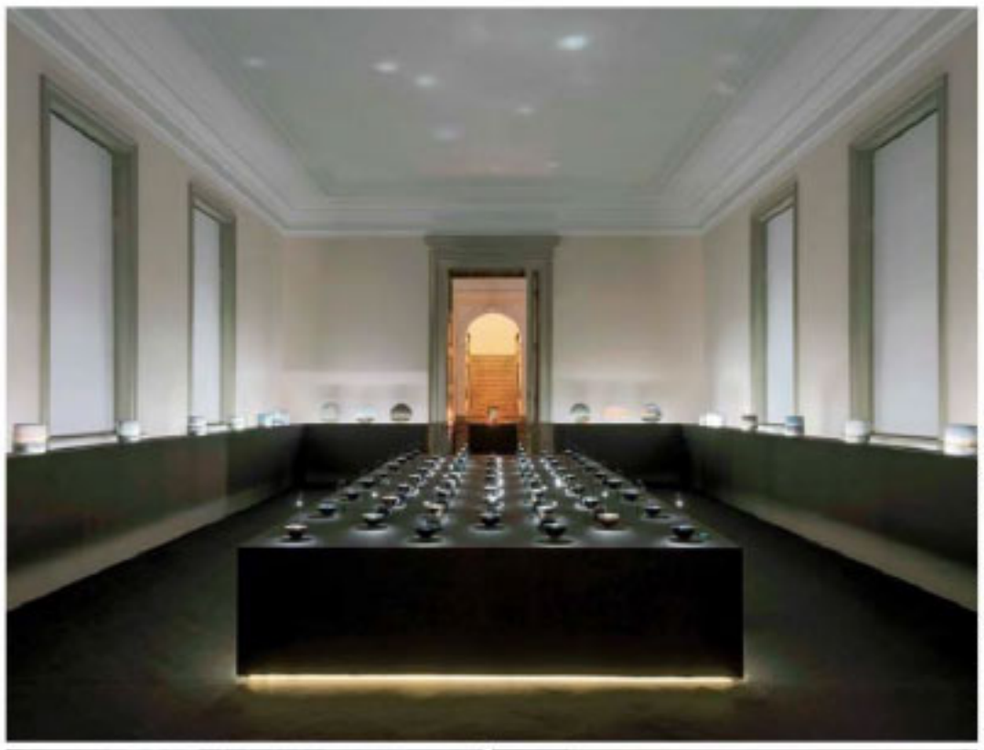
特別企画　杉本博司　江之浦測候所

EVENTS

次世代の養成を第一義に据えて

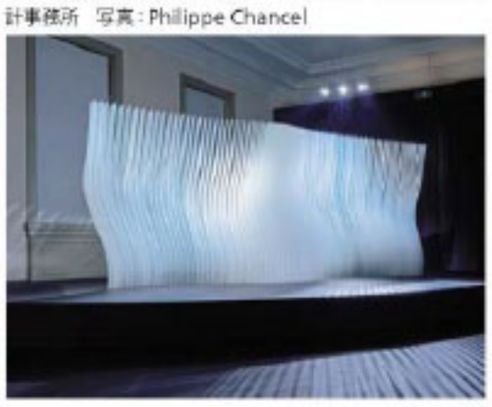
フランス人間国宝展――11月26日(日)まで

取材・文／阪口公子



会期／2017年9月12日（火）～11月26日（日）
会場／東京国立博物館 表慶館
9：30～17：00（金・土曜は～21：00）
月曜休
東京都台東区上野公園13-9
観覧料／一般¥1,400ほか
tel 03-5777-8600（ハローダイヤル）
http://www.fr-treasures.jp/

左／第1室は、ジャン・ジレル氏の40年にわたる曜変天目研究の集大成である茶碗が展示されている。じんわりと明滅する照明が表情を豊かにする。下左／第4室のミシェル・ウルトー氏の傘とシルヴァン・ル・グエン氏の扇。あたかも傘を差しているように動きのある展示にするために、位置決めや固定に時間がかかったという。下中／第5室では、まるで鎧のようなピエトロ・セミネリ氏による折り布。壁面を覆う布も自ら手がけた。下右／最後の第8室は、乳白のガラスがたゆたうように設置された。エマニュエル・パロワ氏の作品。空間デザイン：リナ・ゴットメ アーキテクチャ　設計協力：ヤシャハルアーキテクツ、吉野弘建築設計事務所　写真：Philippe Chancel



白い花崗岩張りの外壁に、銅板葺きのドームが載る、ネオ・バロック様式の威厳に満ちた建物。東京国立博物館「表慶館」は、明治42年に開館した日本で初めての本格的な美術館として、片山東熊によって設計された。現在、同館で「フランス人間国宝展」が開催されている。フランスの人間国宝（メートル・ダールと称する）13名と、次期メートル・ダールと目される2名の作品が展覧できる。

腰高で白と黒に色分けされた第1室では、小宇宙を擁した「茶碗 *Tenmoku*（天目）」が銀河をなす。黒く長い展示台に101もの茶碗が整然と並び、その一つひとつが極小のスポットライトで照らされ、玉虫色の斑文を浮かび上がらせている。

空間デザインにあたり、フランスの建築家、リナ・ゴットメ氏は、8室ある展示室のそれぞれにテーマをつけた。たとえば第1室は「géométrie（幾何学的構造）」と「minéral（鉱物）」。各作家のアトリエを訪れて、作品のイメージをつかみ取り、その世界観に包み込まれるような空間を練り上げたのである。鑑賞者には「まず身体で感じてほしい」との想いから、作品は展示ケースに入れなかった。また、ライティングやサウンドスケープにもデリケートな調整を行った。

9月16日には、「日仏両国における人間国宝」と題したフォーラムを開催。九州国立博物館の副館長、伊藤嘉章氏を司会に、フランス国立工芸研究所の会長、リン・コーエン＝ソラール氏、紋章彫刻作家でメートル・ダールのジェラール・デカン氏、漆芸家で重要無形文化財保持者（いわゆる人間国宝）の室瀬和美氏が、日仏の人間国宝の在り方を語った。

ところで人間国宝とは何なのか？　日本では文化財保護法で、歴史上または芸術的に価値が高く、地方または流派的特色の顕著な技芸を重要無形文化財として指定し、それを高度に体得している人物および団体を保持者として認定する。最初に認定がなされたのは1955年。一方フランスは、日本の称号に感銘を受けて94年に制定。どちらも後世に技芸を伝承するための制度だが、日本では経験年数に規定はなく、フランスでは15年以上の経験があって技術が伴っていれば資格を得られる。本展でも38歳でメートル・ダールに認定された作家が参加していた。「日本では60～70歳がほとんど」と室瀬氏。

後継者を育てるにはエネルギーが必要だ。デカン氏は、伝統工芸でありつつも革新的なプロジェクトを弟子とともに取り組み、意見交換をしながら進めるという。「養成と伝承は別物。ノウハウを教えることはシンプルだが、最終的には技術は霧散し、教える者の心が残る」（デカン氏）。

フランスで起こった様式にならった日本の建築を会場とした、日本にならって設立されたメートル・ダールたちの作品展。100年を超えた日仏の文化の交歓から生まれた、両者の手の痕跡を目の当たりにできる。